

BSHにおける問題点

1960年5月, 6月例会
坂田磨耶子

今回のテーマは、相手がBSHという非常に精選され整備された代物であるため、トーンキホーテが水車に立ち向ったような惨憺な結果を招き下り下り引き下がらざるを得なかった。

問題点として別紙討議資料にも五項目あげたところ、その中のBSHの一人よがりな点が多かったと反省している。

1. NSHからBSHへの移行 (別紙NSHとBSHにおける件名標目の相違一覧表参照)

この移行については、加藤宗厚氏の「件名作業」にくわしい。尤も同著については森耕一氏の図書館学会年報1960: Vol. 7 No. 1: 75-82に発表された書評が、その内容を的確にとらえ論評してつされる。

私もBSHの分類別分布は当を得ているが、とてNDCの部門別、細別、目別とつて各分類項目に該当するBSHの標目数の詳細なデータについては、出版される図書自体、所謂NDCの分類にあてはまるバランスをもって刊行されていないばかりで、BSHが対象とした中小公共図書館の蔵書構成についてみても、各館の事情で異なると一概に論じられないのではないか、と思つた次第である。

NSHとBSHとでは、その細目についても、用語の変遷が著しく、相当な範囲に変更が見られる。

特殊細目についても熟語形式の採用を石坂氏が「図書館界」1959年7月号にBSHの残された問題として力説してつされる。しかし古典的著作に用い

2. BSH 使用館としての体験

16.3

西宮図書館が件名目録の作成に踏み切ったのは、昭和29年5月から国立国会図書館の印刷カード購入を契機とする。

従ってそれ以前購入の図書並びに、それ以後刊行のものである。印刷カードの無い図書については、件名目録の作成は考慮されなかつたためBSH(1956年2月に刊行)入手までは全面的に作成されずとはいえない次第である。

一時NSHによって作成しかけたものの、やはり新しい語彙に欠けたため、BSHの刊行を待つて印刷カードの件名保留分約2,000冊分について作業をはじめ約4ヶ月で閲覧に供し今日に及んでいる。勿論BSH刊行後の購入図書については、印刷カードの有無に拘わらず作成している。

BSHによる件名作業も印刷カードのトレーシングで見られる非常に細分された国立国会図書館採用の標目と比べると左右され勝ちである。しかし西宮程度の中小図書館には不向きであるとして相当数のカードを除外しているが、審議資料スによる「追加採用した件名標目中NSHと重複採用分と新件名一覧」にみられる「建築儀礼」「糊料」「新派」「抜取検査」などは印刷カードのトレーシングを鶴巻にしたため、BSHの基準からは不必要にはみ去られていた。

何れにしても、新設件名は控之目にして、新しい用語から使用している標目に対して「見よ」参照記入を設け、BSHの追加訂正に際する継続委員会といったものの決定に従いたいと思う。

JLAの選定図書速報574回以降に、追加採用した件名標目一覧を付しているが、諸参照についての註記が見られないのは遺憾である。

BSHの全標目25/5中西宮図書館で採用したものは25年5月200現在、154/であり、追加は589となっている。(資料参照)

参照については、見よ参照は未作成で標目表に4エックを施し、

164
BSHの使用法の項にあるように、大抵の件名標目が使用され、
に一括して作れるよう準備だけはしている。

を見よ参照は768作成したか、新設件名については台んど設けていない。

地名が関与する件名（日本のみ）を調査したところ以下の通りであった。

地名を冠する形（日本）	55標目	254枚
地理細目（国家細目、日本）	55標目	719枚
地理区画	28標目	54枚
地名を添える形	3標目	37枚

これが実態調査の結果であるが、地理区画と地名を添える形の標目採用数は少く、やはり地名を冠する形と国家細目として日本を主標目とする件名が圧倒的に多かつた。尤も作業側が、BSHの使用法とく、地理区画を無視して主標目だけの採用が多いのかも考えられる。

何れにしても使用館の体験としては、西官の場合公共図書館であり標目決定者の異動も多く、BSHに詳述された使用法へのつとてて文
充分になされていないのが現状であつてみれば、体験のみを以て批判
とどこか、BSHの体系を固離滅裂にしたのではないかと、という
危惧が先立つ次第である。BSHとして当然とされるべきもの（例えは“イント”思想）が
目かとされていまいかつたり、とつてはなすべきもの（例えは“イント”思想）が
平然と採用されていまいたりするのは汗顔の至りである。

2) 分類順件名標目表の追加について。

165

ここに分類順件名標目表をあげるのは、分類目録の件名索引の作成と関連させておこなうためである。

尤もこの分類順件名標目表の追加については、石塚氏が「図書館界」11巻2号にBSHの残された問題として、「分類順件名標目表を付載すること。これは当初音順表と共に発表されるはずであつたが、頁数などの都合で割愛された。別冊として刊行されることを希望したい」と述べられ、藤田氏が「図書館雑誌」50巻4号に「補充追加のための用意を備えて、標目表の運命を永からしめるためにも体系表の価値は軽視出来ないものと考へる」と言われ、

さらに加藤氏も「BSHの作成に先立ちNSHをNDCの分類順に収録し、体系表を作成し、NSH刊行以後の社会的、科学的の変動、発達、出版などの客観的情勢に即応するための新標目の追加を乞ふべき」と

とあるように、このような体系表があれば、分類表(論理的排列)に別れた件名作業者にとって件名標目表全般の把握も出来、その件名作業も容易ではないか、と思われる。

さらに分類表の場合であれば、NDCの採用館でも展開された細目を参考にすることが出来たのであつかう、主標目以外にも出来るだけ細字でも註記してあれば、利用度が増すのではないかと、いつか虫の...とも考へている。

と32「分類目録の件名索引と関連してである。この件名索引カードについては、山下氏が「件名目録の作り方(図書館)」に述べていられる。

即ち、分類目録一狭義一の件名索引は、分類目録一狭義一の分類項目(分類名辞)及び、その他必要な項目をあげて、分類目録一狭義一の分類番号に参照し、アルファベット順(又は五十音順)に排列するべきである。

先の使用館の体験の項にも述べたように、西宮図書館の場合BSHの

10.6
標目使用数は、25/5中154/1にすぎない。残る974の標目については、その標目に該当する新刊圖書の到着を待たねばなかつた空白である。

さらに西宮図書館はNDC5版の採用館であるため、新しい名辞に欠けているが、それを補うため、BSHの全標目からNDC5版への参照の形でこの件名索引カードを件名目録に挿入してはどうか、と考える。そしてそれは件名目録を完備するものであっても、利用者には無益な混乱を及ぼすおそれ、とは考えられない。

BSHが新しく採用した件名記入から著者記入への参照にしても、西宮図書館の場合、事務用にはあつても、閲覧用に著者目録がなつて、充分に活用することが出来ます。BSHの全標目を網羅出来ない現在の件名目録に分類の引き（利用者には分類体系の把握は困難と思われる）としての件名索引カードの挿入はあなから専益とは思えない。

尤も件名の対照となる圖書は10年を限度としてそれ以前のものについては或いは不必要かも知れない。従つて29年5月からの件名を採用した西宮図書館も曲りなりにも丸6年を経過したのであるから、余り古い圖書についての考慮は些かナンセンスであるかも知れない。

しかし一般利用者にはやはり分類体系の把握は困難で音順排列の方が利用しやすいのではないか。また、何かに件名をとより非常に体系化された分野はそのまま分類の体系を指示した方が親切ではないか、と思われる。

何れにしても分類順件名標目表が完成していれば、同一分類内での用語の範囲とつち、標目の採用数も決定出来、作業が全般的にスムーズに行くののではないか。その分類内で或る程度選択出来、参照作成分について工夫を施せば（この場合分類目録を参照するだけ、蔵書構成の把握が出来て一石二鳥とも思われた）……とも思う。この体系系の完成が待たれる次第である。

4. 件名参照の印刷カード化は可能か

件名参照については、マサの使用館の体験の項でも觸れられたが、西宮図書館では、石見よ参照のみ作成し、石見よ参照については一応該当標目レキエックを施し作成準備は整えてあるもの、まだ作成していない。しかし関連標目間を連結して石見よ参照の重要性は無視出来ないばかりでなく、件名実施後6年を経過した今日、頻度の多い主標目については、あふかレ採用されたと考えて差支えないと思われ、従つて石見よ参照作成の時期は熟しているとも考えられる。

このような時「学校図書館」その他で、小、中学用ではあるが、印刷件名カード(京都出版K.K)作成が報せられ、非常に関心を持たれてゐる。件名参照が作成されているかどうか照会してみた次第である。

若し件名参照が印刷カード化されていけば、分類目録の印刷見本カード以上の効用はあるし、採用分レキエックを施す手間と、そのレキエックのみが採用件名であることを利用者へ周知させることが出来れば、活版印刷の見易は大変な魅力で、一人合算してつづ。 (これはB5Hを対案としてのものでないかかわらす)

しかし照会の返事には件名参照は作成していない由であつた。考えてみてもまだなく件名参照には該当件名(各館の)についてのみ作成するのであつて将来予想される使用件名まで列記されては件名作業者か、その利用者も徒らな混乱に陥るのは火を見るより明らかである。何等かの操作で解決出来るのではなから、石見よ参照はともかく、石見よ参照は記載事項が多いので、この印刷カード化が可能であれば随分助かる。レキエック字易な虫のいいことを考えて~~つづ~~次第である。

何れにしても早急に石見よ参照の作成が望ましい西宮図書館としては、この作業の能率化のためには、やはり印刷カード化の夢を断ち切れない。JLA西張りレキエック印刷が試みられれば是非利用させていってみたいと思ふ。

5. 件名典拠ファイルについて

168

このファイルは、いわば一館の件名標目表がカード化された(冊子式もあつた)ものであり、適用している標目表の使用済標目にチェックし、新標目の追記や標目の変更、廃棄を行う代りに、その館が採用した標目についてのみ一標目一カードで排列して行くものである。これは図書館ハンドブックに詳しく述べられているところである。

さらに、一般的な件名標目表には記載を全く省略した件名群がある。このうち地名、人名、団体名などは標目数が多いので、これらを使用のズバズバ標目表に追記する代りとして、一標目一カードで作成する。云々

引用が長くなつたが、一応以上の二つの場合が西宮図書館にも該当すると考えられる。

西宮図書館ではB5H B判2冊に使用件名(参照を含む)にチェックを施し、追加分は余白に書き込んでいるが、2名の係員が協力して2冊の表に記入する。というのは作業能率からいっても余り感心出来ない。しかも、係員に異動があつて、その記載位置も同一に行かない場合が往々にしてある。とすれば尚更である。

これらを是正するため、余白の書き入れもそれぞれ限界に達したため典拠ファイルの作成を思いついた次第である。

しかし件名典拠ファイルと一口にいっても、全標目(追加を含めて使用分)の作成と、地名、人名、団体名のみ(この場合標目表の記載を転記する)の二つの場合が西宮図書館の場合考慮される。

京都府立図書館で追加分だけカード化する、という耳よりな話を聞き、早速その資料(「目録編成規則」の審議資料としての人名だけの騰字印刷)を
募

藤田氏から送っていただき、人名についての京都と西宮の対照表を作成してみた。その数だけ述べると

	京都	西宮
日本人名	179名	106名
中国人名	19 "	12 "
西洋人名	266 "	142 "

以上であるが、このような人名も、標目表の余白に記入されている場合どうしても通覧性がないばかりでなく、件名作業者も一貫して同一人ではないものの精粗も一目瞭然である。

また、図書館界第12巻第2号の目録編成規則委員会報告にある「主要人名標目表」の完成を間近とすれば、これも併わせて参考にし、採用人名の範囲の取捨の基礎にしなくてはならないと考えている。

このように考えてくると、西宮図書館の典拠ファイルは、その整理能力からいって、全標目をカード化するより、やはり「主要人名標目表」その他参考文献の多い個人名、団体名に限ってカード化していく（その際標目表に記載された該当者使用標目のカード化は尤論含まれる）と思っている。

全標目のカード化になると、余り厄大すぎて一寸午のつけようもない。尚多くは益少（西宮図書館の整理能力からしても）としか思われない。

新標目については出来れば「見よ参照」で処理し、小件名の乱れを避け、現在までに採用したものについても再検討し出来れば整備に行きたいと考えている次第である。

以上でBSHにおける問題点について使用館の実態調査にとずく体験を中心に述べて来たが、冒頭にも述べたようにBSH、という完全な標目表を相手としては、所詮私などの去る幕ではないとの感も深くしなくては申し添え報告を終わります。

(1960. 7. 13 記)

1. NSHとBSHにおける件名標目の相違一覧表

図書館雑誌 Vol. 50 No. 4 「6,200 から 2,500 まで」 山下栄氏
の一覧表参照のこと。

2. BSH使用館の体験

追加採択した件名標目中 NSHと重複採用分と新件名一覧

(但し BSHの規定による記載を省略した件名群は原則として除外し、後に
その数をあげた。なお V(チェック)は JLA の選定図書速報に掲載
された追加採用の標目である。)

NSHとの重複分	新件名	NSHとの重複分	新件名
ア. アセチレン	合気道	キ. 木型	教員養成
アパート(アパートマン)	アツポリケ	黄金屋	行政監査
海女(海人)		吃音	キリスト教青年会
V アルコール中毒		俠客	金属学
V アンテナ		V 銀行会計	金属表面処理
イ. 盲見法		金相学	金本位制
エ. 岡田率	演算子(V 演算子法)	近東問題	勤務評定
ホ. 大津絵	オシロスコープ → 計器・計測器	ク. 空気力学	
贈物		軍備縮小	
カ. 会計学	V カウンセリング	ケ. 螢光	経済学-計量学派
海賊	学問の自由	V 経済数学	経済学-ロサン学派
化学平衡	花粉	V 減価償却	V 読輪
ガス事業	カレー	元寇	劇文学
河童	官公庁会計(V 官公会計)	原人 ← 人類学	研究機関
看板	化学構造	剣舞	原子兵器
飼鳥			V 原子炉
キ. 機械材料	記号論理学 → 論理学		遺唐使
V 器械体操	季節風		研磨

NJHの重複
航海計器 → 航用計器

工業用水
工作
合成ゴム
交通経済
校長
烤肉
コー
国際主義

酒造り
サラマン → 俸給生活者
更紗(更紗模様)
散文
三民主義

士族
シベリヤ出兵(1918-1922)
司法書士
事務管理
指紋
執行猶豫(刑・執・行猶豫)
自由港
精進料理
剰余価値
食虫植物
真空工学
信用 → 金融
莊園
人種問題

水利政

新件名

航海計器
香辛料
厚生年金
更年期
ニケル(→人形)
アルコールと集団農
こんにや
サイクリング
野山資金
サイバネテックス
資材管理
市場調査
造幣材料
天竺制度
事務機械
就業規則
重農主義 ← 経済史
商売
シリコン
自律神経
シンクロスコープ
新語
新興宗教 ← 類似宗教
人工衛星
人民公社
水産学

NJHの重複

水カターベン
七 子界観
志十字
潜水艇
船舶信号
駭音
送球 ← ハント木
蓑
備兵
素数
損益計算
損害賠償

塔
特殊鋼
読書調査
賭博
奴隷

生産性
青年運動
青年学級
石炭化学工業
セルロース → 繊維
創価学会
装置設計
促成栽培
學
大逆事件
タツノ盤
彈劾制度
産学
中共軍
跳躍競技
定時制
鉄棒
テレビドラマ → 放送
デソル
天文
特殊部落
徒子徒孫
トランジスター

NSHとの重複分	新件名	NSHとの重複分	新件名 16.3
ニ. 妊娠			放射体化学
イ. 農業地理	農業立地	マ.	ボール盤工作機械
	農民文学	ミ. 身上相談	マイクロウエーブ
ハ. [√] ハニワ(塩輪)	[√] はまみ(鉄)	メ. 綿織物	未開社会
花火	醸造工学	モ. 模型地図	シイル → 誘導弾
又印	[√] バドミントン	ヤ.	
犯罪心理学	花札	ユ. 友禅染	煙入水波
	パンクカード	エ.	油圧機械
	[√] 半導体	カ. 力織機	ラジオ放送
	美術商	ク. 流行	飯海
ヒ. 秘密結社	部落	コ.	
器具	ポイント路 ← 印刷回路	サ.	若草感 ← 心理学
フ. 不当利得	ポーハ(PH)	シ.	[√] ロケット
不法行為	ベニヤ板	ス.	ロケット機関
ク. ン画	保育園	セ.	ロケットテスト
	封建制	ソ.	
ホ. 帽子	放射性物質	タ.	
牧場		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	
		ト.	
		チ.	
		リ.	
		ニ.	
		ハ.	
		ヒ.	
		ヘ.	

- BSHの標目使用数 (25年5月20日現在)
2515中 (988) 1541
- 右見よ参照 使用数 (25年5月20日現在)
1163中 (未調査) 768
- 追加採択(1)件名標目数
新設(1)普通件名(所謂小件名) (71) 229
これに伴う「右見よ参照」 (4) (省略)

• 例示的にあげた件名群 (BSHにあげた以外の追加標目)

a. 宗教の宗派名、教派名	(1)	6
b. 国家間の戦争名	(2)	3
c. 法律名	(14)	54
d. 租税名	(1)	1
e. 教科名	(2)	4
f. 元素および化合物名	(7)	11
g. 薬品名	(1)	1
h. 植物分類の門、綱、目の名称	(1)	5
i. 動物分類の門、綱、目の名称、および同々の動物名	(2)	4
j. 人体の器官名	(2)	2
k. 人体の総称的な疾病名	(1)	2
l. 機械・器具名	(5)	15
m. 金属名	(2)	6
n. 工業製品名	(1)	9
o. 農産物名	(2)	15
p. 楽器名	(2)	1
q. 業種名	(2)	2
r. スポーツ名	(1)	10
s. 公共機関の総称名	(1)	3

• 記載を省略した件名群

a.	個人名	日本 (34)	106
		外国 (59)	155
b.	個人名、団体名、施設名	(6)	30
c.	地名	日本 (12)	30
		外国 (5)	16
		その他地理的件名 (3)	5
d.	条約名、国際会議名	(18)	4
e.	国家試験名、検定試験名	(13)	27
f.	産物名、岩石名	(14)	1
g.	各個人名及び団体名並びに地名	(2)	2
h.	樹木、花、果実、蔬菜の名	(2)	2
i.	魚の名、鳥の名	(2)	2
j.	人体の個々の疾病名	(13)	30
k.	件名記入の対象となる書名	(18)	32

(計282) 計589

(註: 以、11.27に調査(回数)は括弧内に入る。)